

令和4年度 学校評価総括表 (徳島県立板野支援学校)

重点課題	重点目標	評価指標
1 安心安全な学校づくり ・避難訓練等の防災教育や環境整備の推進	<総務課> 防災教育を中心とした危機管理体制の見直しを図り、安全意識や命を守る行動をとる意識の向上に務める。	①地震・火災・洪水による避難訓練を、実際に起こったときの場面を想定して実施する。 年度末にアンケートを実施し、危機管理意識が高まったと回答する教職員が、8割を超えるようにする。
		②学校安全の日(毎月20日)に、教職員全体に周知して、各自が安全を意識して確認及び点検をするように、動機づけを図る。 年度末にアンケートを実施し、安全意識が高まったと回答する教職員が、8割を超えるようにする。
		活動計画 ①各避難訓練において、「日には周知するが時間は知らせずに行う」、「非常時の持ち出し袋を携行する」など、児童生徒の安全を確保するために、教職員が何をしなければいけないか考えて行動できるように、訓練が実効性のあるものにする。 事後には、課題を洗い出し、解決策を教職員全員で考えることで、危機管理の意識を高めるようにする。 ②「学校安全の日(毎月20日)」に行うと決めて、以下のことを行う。 ・校内の施設・設備や遊具等の不具合箇所の有無の確認をする。 ・児童生徒が使用している車いすや歩行器、机やいす等の安全点検を行う。 ・非常時に持ち出す物や非常食の賞味期限の確認を行う。
2 児童生徒に応じた教育活動の充実。 ICT等を活用した情報教育の推進(情報課)	各学部で行う教育活動において個々の児童生徒の障がい特性に応じたパソコンやタブレット端末を使用した取り組みを推進する。	① 教員同士で児童生徒に応じた有効な活用法についての情報交換を行ったり、個々の創意工夫を行ったりして、児童生徒の障がいの特性や実態に応じたICT機器(iPadやパソコン、プロジェクター等を始めとする表示装置、その他様々なICT装置)を活用した学習活動に取り組み。その結果、ICT機器を使った授業実践の取り組みを8割の教職員が実施したと回答が得られることを目標とする。
		活動計画 ①-1各教員は授業実践で担当する児童生徒の実態に応じた使用方法や活用の工夫などを考える。必要に応じて、教員同士意見交換をして適切な機器の使用を考える。また、校内で実施される研修会などにも参加をする。 ①-2各教員はICT機器を活用した学習活動に取り組み。取り組んだ内容(各クラス1以上)については共有サーバー等に保存して全ての教員が閲覧できるようにし、情報を共有し、活用できるシステムを作る。 ①-3全教員にICT機器等の活用実践の取り組みについてアンケートをとり集計をする。
3 保護者や関係機関等と連携した教育の推進 ・医療機関や専門家を活用した自立活動の推進(自立活動課)	医療機関や専門家の助言により、各教員の専門性を高め、安全で効果的な指導力の向上を推進する。	①社会人講師(PT・OT・ST)による指導や医療機関におけるリハビリ見学、整形外科医による自立活動指導検診について教員にアンケート調査を実施し、8割以上の教員から「児童生徒の指導の参考になった」「相談して安心できた」等の回答を得る。
		活動計画 ①-1 社会人講師(PT・OT・ST)の指導やリハビリ見学、整形外科医による検診を計画・実施し、保護者との共通理解を図るとともに、課題や指導方法を明確にする。 ①-2 医療機関や専門家からの助言について記録を作成し、理解を深め、教員間の共通理解を図るため活用する。 ①-3 助言内容を参考にして効果的な指導を自立活動の授業に取り入れる。 ①-4 アンケート調査を実施し、その効果や改善点を明らかにし、次年度にいかす。